



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗アクチンモノクローナル抗体

(動物種: マウス)

包装: 50テスト (6mL)

Code: 412011

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL.03(3248)2208 FAX.03(3248)2243

特異性および抗原分布: ヒト骨格筋、心筋、平滑筋を含む筋由来の および α -アクチンと反応する。サイトスケルトンの他の成分とは反応しない。他の間葉、上皮細胞とも反応しない。

クローン名: HHF35

抗体のサブクラス: IgG1、

免疫原: ヒト心筋層のSDS可溶性タンパク。

製法: ハイブリドーマの培養上清より得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗アクチンモノクローナル抗体(動物種: マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6mLを含む。

2. 使用目的

組織・細胞中のヒトアクチンの染色。細胞中のアクチンの分布、収縮系における構造や機能の研究に有用である。

3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

検体に対して常温で1時間インキュベートする。また、組織の固定条件等により4℃、一晩のインキュベートで良好な染色が得られる場合もある。なおこの反応時間は、ヒストファインSABキットを使用する場合の目安であり、他のキットを使用する場合は、研究者自身が至適反応時間を調べる必要がある。

4. 貯法

2-8℃ 保存。

5. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

6. 主要文献

- (1) Mukai, K. et al: American J Surg Pathology 5: 91, 1981
 - (2) Papotti, M. et al: American J Surg Pathology 7: 451, 1983
 - (3) Tsukada, T. et al: Am J Pathol 127: 389, 1987
 - (4) Gowm, et al: Am J Pathol 125: 191, 1986
 - (5) Tsukada, T. et al: Am J Pathol 126: 51, 1987
 - (6) Porter, et al: Mod Pathol 4: 46, 1991
- 研究用としてのみ使用すること。